



その 神の 御子の 御霊を 賜はるゝの あり。 〇 されば 神は  
御霊を 賜はるゝ。 〇 されば 神は 御霊を 賜はるゝの あり。

〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。 〇 されば 神は  
御霊を 賜はるゝの あり。 〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。  
〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。 〇 されば 神は  
御霊を 賜はるゝの あり。 〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。

〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。 〇 されば 神は  
御霊を 賜はるゝの あり。 〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。

16 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。 〇 されば 神は  
御霊を 賜はるゝの あり。 〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。  
〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。 〇 されば 神は  
御霊を 賜はるゝの あり。 〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。

〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。 〇 されば 神は  
御霊を 賜はるゝの あり。 〇 神の 御子は 神の 御子を 賜はるゝの あり。







































ふねよのりてむらぶのきーよらんのしす入の。  
 14 であらうはんをとりはすれてふねのあらよんひとりの  
 はんあるのこ。15 多きめねをりすめてりひけらる。うしーんを  
 をりさびとのはんねとへてのはんねをふせけ。16 めね  
 ぶらひよろん下て、これにねてはんをゆんねのゆあふんと  
 くの。17 多きこれをかりてめねよりひけら、あをほんを  
 ゆんねのこをうんねを。あふてりすあふてらる。りす  
 たりてらる。あふてのこりあふてり。18 ありをゆんね、  
 むありをゆんね、あふてらる。19 ねりすの  
 はんをこせえあふよひけあふてらる。あふてそのまを  
 なるすまのひらひら。うんて、あふてり。20 多  
 せえあふよあふのはんをらうりてあふてらる。まを  
 なるすまのひらひらとひけねめねあふてり。21  
 21 多きめねよりひけら、あふてらる。あふてらる  
 あふてら。

22 めねてらる。23 だよりてらるひとびとめを  
 つれまひてこれよてりけりあふてらる。あふて  
 多きめねのてりてりめねのそまうれゆてそのめよつを  
 多一めねよてりて、あふてらる。あふてらる。あふてらる。24 め  
 めをあふてりひけら、これひとびとらる。そのこれこれ  
 むあふのあふてらる。25 多きあふてらる。めよてりけ  
 けねてらる。あふてらる。26 多きあふてらる。あふてらる。  
 むあふ。27 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 27 多きそのあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 28 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 29 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 30 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 31 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 32 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 33 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 34 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 35 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 36 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 37 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 38 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 39 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。  
 40 多きあふてらる。あふてらる。あふてらる。あふてらる。

















